

# 地学協働

13

2023年10月

Hokkaido community and school collaboration

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課



バックナンバーはこちらから御覧いただけます。

## 1 社会教育巡回訪問

道教委では、学校が地域と連携・協働を深め、学びと社会参画の好循環を生み出すことによって、地域創生の原動力とするための地学協働を推進しています。教育局の社会教育主事が市町村教育委員会及び学校、企業、団体等を訪問して考えや思いを把握することや、それぞれの組織が連携・協力していくための指導助言を行うことにより、地域社会の持続的な発展を図ることを目的として、社会教育巡回訪問を実施しています。

## オホーツク教育局～学校運営協議会の機能強化及び設置促進～

オホーツク教育局では、今年度、義務教育指導監の学校経営指導に合わせ、管内18市町村の小・中・義務教育学校を訪問し、学校運営協議会の効果的な運用に向けた情報提供と助言を行うとともに、高等学校教育指導班と連携して道立学校のCS未導入校を訪問し、地域の実情を踏まえたCSの円滑な導入に向けた体制づくり等について助言を行っています。

学校訪問の中で、既にCSを導入した学校から、「学校と地域双方にメリットがあり、楽しみ合え、喜び合える関わりになる取組」とすることを学校運営協議会の方針として明確化した事例や、学校運営協議会委員からの意見を熟議のテーマに反映し、効果的な取組につなげている事例などを把握することができました。

今後も、市町村教育委員会や道立学校と連携を図りながら、学校訪問で得た好事例の情報発信や学校運営協議会の機能強化及び導入促進に向けた支援を行ってまいります。



チェックシートに回答するだけで、自校のCSの状態について自己診断ができ、改善のための次の一手を検討する手立てになります。

↑CSの現状や課題について見える化できる「CSポートフォリオ」を学校訪問で紹介しています。

<参考>  
文科省HP掲載ページ



## 檜山教育局～広報でつなぐ地学協働～

檜山教育局では、管内の地学協働の推進と発信を目的に、広報誌「ひやまをつなごう」を作成しています。記事は町教育委員会や、サポート企業からの情報提供を受け社会教育指導班が訪問・取材して作成し、年間10号程度を教育局webサイトや道教委のX（旧Twitter）を通じて広く発信しています。



家庭教育サポート企業の活動の様子

紙面では、各町教育委員会が実施する親子体験事業や、学校運営協議会の様子のほか、家庭教育サポート企業（JA新はこだて厚沢部営農センター）が認定こども園の子どもたちを対象としたジャガイモの植え付け体験を行っている様子など、管内の様々な魅力ある取組を掲載しています。

興味のある方は、ぜひ二次元コードを読み取り、御一読ください。



バックナンバーはこちらから（檜山教育局社会教育のページ）

情報提供や個人配信登録はこちらから（アンケートページ）



◆教育委員会や学校、企業、団体等の求めに応じて「社会教育巡回訪問」を実施しておりますので、地学協働の推進に関わること、社会教育に関わることなど当課または各教育局社会教育指導班へ御相談ください。

# 地域と学校の連携推進協議会（道東会場）

令和5年8月30日(水)に道東ブロック（主管：根室教育局）において、標津町生涯学習センター、釧路市生涯学習センター、十勝合同庁舎をオンラインでつないで、実施しました。

道東会場では、実践発表のほか、「各学校や地域が抱える課題解決と今後の取組に向けて」と題して、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」に向けて、各学校や地域での今後の取組について協議し、参加者間で各地域の成果や課題等を交流し、今後の方策を検討しました。

- 1 参加者 地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、学校職員、教育委員会職員、学校運営協議会委員、保護者、地域住民、社会教育関係者、道職員、市町村首長部局職員、幼稚園職員 等
- 2 内容

(1) 行政説明 根室教育局教育支援課社会教育指導班主査 村上 真琴

■ 道の現状と課題を踏まえ、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動（地学協働）の重要性について、今後の展望などを説明しました。

(2) 実践発表

## ①「地域と共に育む野付の子」

発表者：別海町立野付小学校  
校長 打川 真由美 氏



野付小学校HP

### ★野付学校区CS

(平成31年度スタート)

CSコーディネーター  
CSが目指す子ども

### ふるさとキャリア部会

- ・職業体験のサポート
- ・地域学習・キャリア教育サポート

### 学びの土台部会

- ・読書推進 読み聞かせボランティア
- ・NIE（新聞を活用した教育）の推進
- ・メディアコントロール学習会 など



学校運営協議会の部会の設定や幼小中一貫したふるさとキャリア教育の実践などについて、説明がありました。

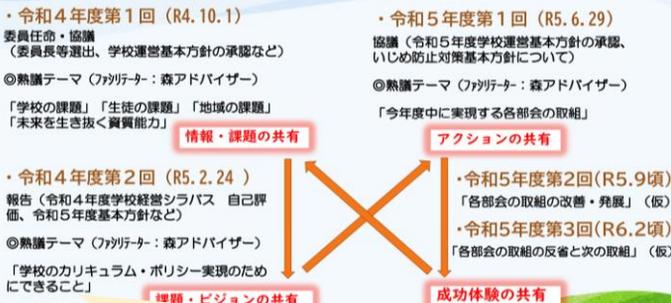
## ③「白糠高等学校におけるコミュニティ・スクール導入までの取組」

発表者：北海道白糠高等学校  
教頭 滝沢 晶子 氏



白糠高校HP

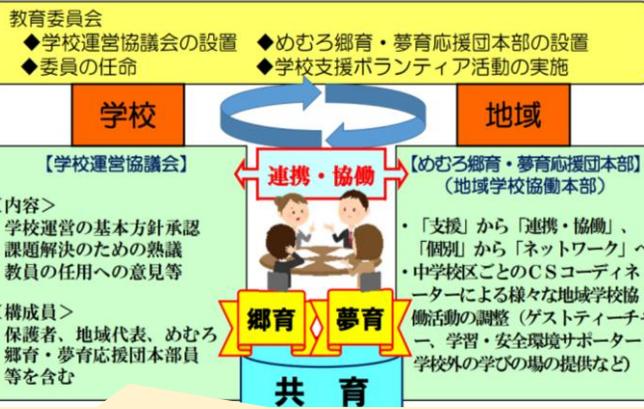
### 5 コミュニティ・スクール設置から現在まで



これまでの取組を踏まえ、学校運営協議会で実施している熟議の内容などについて、説明がありました。

## ②「総合防災訓練を通じた地域とともにある学校づくり&学校を核とした地域づくり」

発表者：芽室町教育委員会  
総括的地域学校協働活動推進員 吉藤 清孝 氏



「郷育・夢育」をキーワードとして地域住民の学校運営への積極的な参画などについて、説明がありました。

## (3) 協議



北海道地学協働アドバイザー 森 敏隆 氏

参加者は、実践発表からの気づきを整理し、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」に向けて、今後の取組の充実・改善について協議を行いました。

森アドバイザーからは、「3つの実践発表は、『課題・ビジョンの共有』などの循環がうまく機能している事例であり、こうした循環ができると、学校運営協議会は大変楽しいものになります。各地域でこうした取組を参考にしながらコミュニティ・スクール等の仕組みを効果的に活用し、皆さん自身が、楽しんで取組を進めてほしい。」とお話がありました。

# 地域と学校の連携推進協議会（道南会場）

令和5年9月29日(金)に道南ブロック（主管：日高教育局）において、オンラインで地域と学校の連携推進協議会を実施しました。

道南会場では、実践発表のほか、北海道地学協働アドバイザーや文部科学省CSマイスターを講師として招聘し、域内の課題の解決に向けて、深く考察する機会となりました。

- 1 参加者 教育委員会職員、学校教職員、保護者、地域住民、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、社会教育関係者、道職員、市町村職員、幼稚園教職員 等

## 2 内容

(1) 行政説明 日高教育局教育支援課社会教育指導班主査 影山 英明

- 道の現状と課題を踏まえ、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動（地学協働）の重要性について、今後の展望などを説明しました。

## (2) 実践発表

### ① 「高等学校でのコミュニティ・スクールについて」

発表者：北海道ノ国高等学校  
教頭 菅野 布靖氏



ノ国  
高校HP

### ② 「地域コーディネーターの取組」

発表者：函館市教育委員会  
地域コーディネーター 京谷 佳子氏



函館市  
教委HP

## II 特色ある教育活動（学校と地域の連携・協働）①



花壇整備  
(社会福祉協議会)



書き損じハガキ回収活動  
(ユネスコブックロー、町内小・中学校、地域住民)



小・中・高合同  
交通安全キャンペーン  
(町内小・中学校、警察、交通安全協会)

Hokkaido Kaminkami High School

上ノ国高等学校における地域協働の取組事例や学校運営協議会実施の流れなどについて説明しました。

## (3) 講演

### 「地域コーディネーターの育成と役割について」

講師：北海道地学協働アドバイザー  
青田 基氏

#### コーディネーター（地域学校協働活動推進員等）は誰に任せる？

コーディネーターを選任する際のポイントは、スキルより資質です。スキルは時間をかけて段階的に習得できますが、資質を変えるのは難しいので、状況に応じて複数名で担当することも考慮しましょう。

#### 地域学校協働活動推進員の役割

何かと何かをつなげる役割

#### 地域学校協働活動推進員の委嘱

1人でも、複数でも可能

地域の状況に応じていずれも可

子供たちの  
状況を理解  
できる人

地域の事情  
を理解  
できる人

学校の現状  
を理解  
できる人

フットワーク  
の軽い人

コミュニカ  
ーショナル  
のある人

役割を担える人として  
1人の人を委嘱する

地域の中で複数の人を委嘱し  
得意なことを生かすなど  
分担してチームで取り組む

社会的信頼があり、地域学校協働活動の推進に熱意と関心を有する人

地域コーディネーターの取組による様々な効果や人材育成などについて講演を行いました。

## 小中学生と町会行事をマッチング

ふらりふかぼり  
担当：深堀町会

ふらりふかぼりに参加  
深堀小や蟹学校と共に



京谷氏が地域コーディネーターになるまでの経緯や現在取り組んでいる業務の内容などについて説明しました。

## (4) 講演Ⅱ

### 「コミュニティ・スクールの可能性について」

講師：文部科学省CSマイスター（福岡県）  
西 祐樹氏



春日市  
教委HP

まずは…

学校運営協議会をどのような会にしていきたいのか

協議内容 会の進め方	委員人選	会議の 約束事	開催時間	場所 席配置
---------------	------	------------	------	-----------

学校だけで決めるのではなく、当事者である人たちが集まって、議論してもよいのでは！？

**このプロセスが意外と大事！！あとで効いてくる！**

先進地である福岡県春日市の事例を基に、これから求められるコミュニティ・スクールの可能性などについて講演を行いました。

# ○●○子どもの読書活動推進コーナー○●○

子どもの読書活動の推進は、様々な人材が連携・協力して組織的に取り組むことが必要です。上川・釧路の2管内からは、連携・協力により多様な資料を工夫して整備し、学校図書館の利活用を促進している事例を紹介いたします。

## 【上川管内】司書教諭を中心に環境整備した図書館(士別市立士別南小学校)

### 読書に親しむための環境整備

児童が本を身近に感じられるように、図書館内だけでなく、学校のあらゆる場所で本に親しむことができるようコーナー設置の工夫をしています。

また、学校図書館を、単に本に親しむ場としてだけでなく、児童の心のケアができる「落ち着ける空間」としての環境整備も行っています。

図書購入では、蔵書の現状を把握し、分類ごとの目標配分比率を基に長期購入計画を作成して購入しています。また、学校司書と司書教諭が連携して選書をしたり、職員や児童の要望を基に購入したりします。



### 様々な資料を記録として残し、次につなげる

各教科の年間指導計画に学校図書館の活用を位置付けるだけでなく、教科書に掲載されている本や、学習活動に必要な本をリスト化し、市図書館などと連携して学習に活用できるようにしています。

また、児童が授業で作成したPOPやパスファインダー（手引き）、図鑑などを次年度の参考になるよう資料として保存しています。

その他、様々な教科の調べ学習で活用できるように、使いそうなパンフレットやリーフレット、冊子などを収集し、保管しています。

## 【釧路管内】読書習慣が根付くための環境づくり(弟子屈町立弟子屈小学校)



### いつでも、だれでも利用しやすい図書コーナー

児童玄関の正面では、教職員が吟味したおすすめ図書や紹介POP、子どももパッとわかる町内の新聞記事の切り抜きなど、つい目を惹かれる展示を掲示しています。展示の奥には、テーブルに並んだ新刊、大型絵本やぬいぐるみ、様々な高さの椅子や学習スペースなど、居心地のよい空間・目的別に利用しやすい環境となっているほか、図書コーナー（学校図書館）が、子どもの生活に溶け込むように配置されています。

### 子どもの読書活動を支える町図書館・読み聞かせボランティア

町図書館と同じ図書館システムを町内全ての学校図書館に導入することで、連携・相談体制が向上し、新しい学校図書の登録作業や学校への団体貸出など、町図書館も学校の読書環境を支えています。

また、読み聞かせ団体「絵本の会おはなしはらっぱ」の活動が地域や児童に親しまれており、ボランティアの絵本の読み聞かせは、教室を温かい雰囲気の中で包み込み、児童は本の楽しさや、地域の人との関わりの楽しさを感じています。

町図書館や読み聞かせ団体による読書活動が児童のよりよい成長を支えています。



題字の背景写真は、「北海道公式観光サイト『HOKKAIDO LOVE!』」

(公益社団法人 北海道観光振興機構) のフォトライブラリーから御提供いただいております。

● 掲載サイト <https://www.visit-hokkaido.jp/>